



議会だより



猪苗代第二小学校
初めて歌う校歌

令和6年3月定例会・臨時会

正副議長あいさつ・新議会構成	2
あらまし・議案審議	4
予算審査特別委員会	6
議案審議・人事案件	8
一般質問目次・臨時会	9
一般質問 8人が登壇	10
わたしたちの町(猪苗代中)	18



議会だより

マチイロのご利用は下のQRコードから



App Store



マチイロ



Google Play

新たな議会構成で始動!

いなわしろ広報の紹介記事も併せてご覧ください



 1. 長友 海夢 2. 新町ろ 3. 2期目	 1. 山内 浩二 2. 長坂 3. 2期目	 1. 鈴木 元 2. 土町 3. 2期目	 1. 大高佐代美 2. 猪苗代行政区外 3. 2期目
----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------

 1. 渡部 一登 2. 長浜・蟹沢 3. 3期目	 1. 星野あけみ 2. 上ノ上 3. 3期目	 1. 瀧田 勝昭 2. 八千代 3. 3期目	 1. 佐藤英一郎 2. 木地小屋 3. 4期目	 1. 長澤 操 2. 沼尻駅前 3. 5期目
------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------

 1. 渡辺真一郎 2. 沼ノ倉 3. 5期目	 1. 五十嵐ミエ子 2. 東館 3. 5期目	 1. 関沢 和人 2. 夷田 3. 10期目	 1. 安齋 浩明 2. 樋ノ口 3. 1期目	 1. 後藤 公男 2. 萩窪 3. 6期目
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

常任委員会が新しくなりました

総務文教常任委員会

総務、財務、企画、消防、防災、教育

- 委員長 大高 佐代美
- 副委員長 長友 海夢
- 委員 鈴木 元 瀧田 勝昭
- 長澤 操 関沢 和人
- 安齋 浩明

経済厚生常任委員会

土木、建築、農林水産、商工観光、上下水道、厚生

- 委員長 渡部 一登
- 副委員長 山内 浩二
- 委員 星野あけみ 佐藤英一郎
- 渡辺真一郎 五十嵐ミエ子
- 後藤 公男



副議長
安齋 浩明



議長
後藤 公男

就任あいさつ

このたび、3月臨時会におきまして議長並びに副議長に就任することとなりました。身に余る光栄であるとともに責任の重さを、痛感しているところでございます。

昨年12月定例議会にて議会基本条例を制定しました。これは、町民にさらに開かれた議会、信頼される議会を築く決意を述べたものです。

町は今、小中学の統合や観光まちづくり推進など新たな政策を進めています。議会も町と協力して、スピード感を持ち、更なるデジタルツールを活用して、町民の負託に答えるべく運営してまいります。皆様方のさらなるご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

3月1日臨時議会が開催され、正副議長をはじめとする議会の構成が決定しました。

正副議長の選挙は、投票により行われた結果、議長に後藤公男氏、副議長に安齋浩明氏が就任しました。

議長に後藤公男氏 副議長に安齋浩明氏

広報広聴常任委員会

- 委員長 星野 あけみ
- 副委員長 瀧田 勝昭
- 委員 長友 海夢 山内 浩二
- 鈴木 元 大高 佐代美
- 渡部 一登 佐藤 英一郎
- 長澤 操 渡辺 真一郎
- 五十嵐ミエ子 関沢 和人
- 安齋 浩明

議会運営委員会

- 委員長 長澤 操
- 副委員長 鈴木 元
- 委員 大高 佐代美
- 渡部 一登
- 委員 星野 あけみ

会津若松地方広域市町村圏整備組合 議会議員

- 鈴木 元 渡辺 真一郎

議会選出監査委員

- 佐藤 英一郎

学校給食無償化 予算成立!!

あらまし

令和6年第3回定例会は3月12日から3月22日まで開催されました。町長から提出された議案は、令和5年度補正予算10件、令和6年度当初予算11件、条例の制定及び一部改正が14件、条例の廃止1件、指定管理者の指定5件であり、すべて原案のとおり、可決しました。

一般質問は8人の議員が2日間にわたり行いました。

【一般会計予算の概要】

総額は89億4700万円

前年度比4億3500万円の減額

《歳入》物価高騰の影響もあり厳しい状況にあるが、コロナ禍の影響は徐々に和らぎ、観光業等においても緩やかな持ち直しが見られる。固定資産税は総務大臣配分にかかる償却資産の増額が見込まれる。自主財源の根幹である町税の確保は、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。

《歳出》猪苗代小・猪苗代第二小長寿命化事業や子育て支援の充実を図ったことから、臨時的経費については緊急性等を勘案し事業費の圧縮を図った。

《町債》令和6年度末の現在高は、前年度比約3億4千万円減の約82億4千万円を見込んでおり、安定した財政基盤維持のため、起債額を抑制する。

【主な予算】

町振興計画後期計画に基づき予算に反映された主な事業については次のとおり。

①安全安心を肌で感じる。

- 新規 町道猪苗代病院線道路改良工事(猪苗代中学校前) 1億3700万円
- 新規 乳幼児へのおむつ券支給 439万2千円
- 新規 産婦人科・小児科オンライン診療サービス事業
- 新規 児童館の遊具整備事業
- 新規 高齢者見守りサービス事業
- 新規 デマンドタクシーの大型スーパードライバークラス追加 1億3800万円
- 放課後児童クラブ運営 4900万円

②豊かな自然を活かす。

- 新規 猪苗代駅前周辺花壇花植え事業 7千万円
- 新規 緑の村駐車場整備事業
- 新規 そば・大豆刈取用汎用コンバイン整備事業
- 新規 資源ごみ一時保管用ストックヤード整備のためのごみ焼却施設・し尿処理施設跡地整備事業 1億6千万円
- 商工業金融対策事業 3300万円
- 教育旅行支援事業 1億6千万円
- 町民応援商品券交付事業 (3千円/町民1人) 5900万円

③いつまでも猪苗代で暮らす。

- 定住促進事業 1600万円
- 地域おこし協力隊の活動事業費 4300万円

④人をつくる。

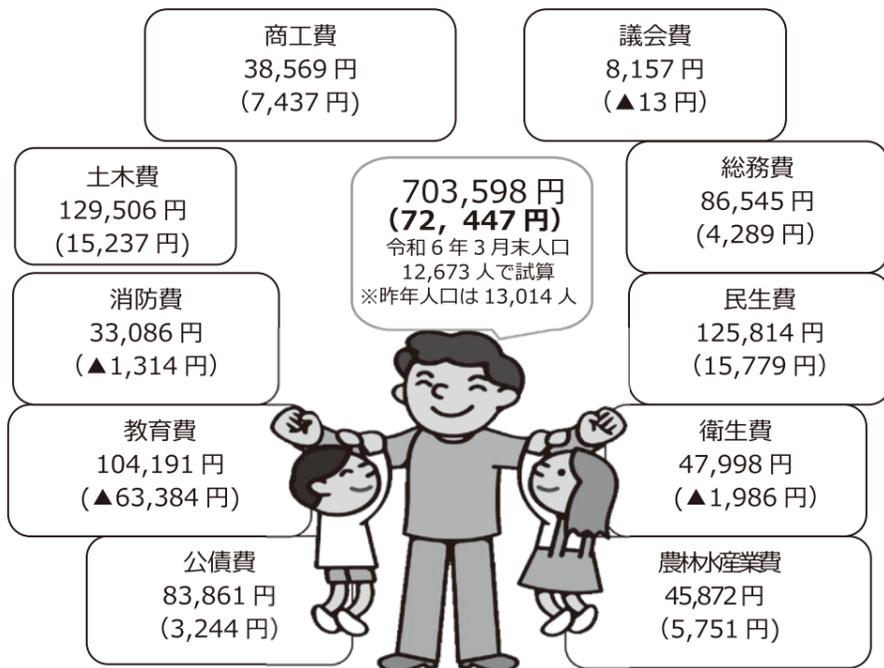
- 新規 小中学校児童生徒学校給食完全無償化事業 5900万円
- 猪苗代小・猪苗代第二小長寿命化事業 4千万円

⑤協働により、みらいを拓く。

- 新規 町公式ホームページ更新事業 5900万円

※予算にかかる主な質疑については、6ページからの『予算審査特別委員会』をご覧ください。

町民一人当たりの主な使い道 (一般会計)



※ () は昨年度対比



無償化となった学校給食

令和6年度一般会計予算

【反対討論】

【五十嵐 ミエ子】町の更なる発展に取り組み予算ではあるが、コンバイン使用料の引き上げなど、物価高騰から農業を守る予算になっていないので反対。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	○	欠	欠	欠	○	○	×	○	○	議	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成：「○」、反対：「×」、議長「議」、欠席：「欠」 同数の場合には議長が採決に加わる。

議長を除く10名の委員で、令和5年度補正予算、令和6年度予算を審査しました。

令和5年度補正予算

一般会計

〔歳入〕

《町税》

個人町民税の滞納繰越分の増額は。

当初15%程度を見込んだ徴収率が、適切に調査、差押えを実施したことにより16・34%の伸びになった。

《財産収入》

旧環境省官舎跡地、古城町の売払いに応札者が無かったとあるが、ここ数年同様の状態である。今後の方針は。

問い合わせは数件あるが、入札には至っていない。今後も売払いに努める。

除雪車両の売払い346万7千円の内容は。

11トン級ドーザ2台と5トン級ドーザ1台。

〔歳出〕

《総務費》

企画費補助金600万円の内容は。

長野県伊那市（旧高遠町）と親善交流を締結し20周年となるため記念事業実施の補助金。

また、路線バス猪苗代裏磐梯線運行維持のための補助金。

《民生費》

おむつ給付券の内容は。

満2歳までの乳幼児の保護者で、毎月3千円を配布。4、5月に申請を受け付け、6月から給付予定。

《商工費》

フォトスポットフレーム設置工事・展望デッキ設置工事の設置場所は。

フォトスポットフレームは、いなわしろ新八景に選定されている観光スポットに3基を予定、展望デッキは、町営牧場のそば畑に設置する。



展望デッキの設置される町営牧場のそば畑

〔歳出〕

《総務費》

区長報酬費の減額の要因は。

世帯割で96世帯減となったものと、金堀行政区がなくなったため。

《民生費》

結婚新生活事業補助金の不用額の内容は。

満額30万円を6人で計上したが、30万円が2人、年度途中で該当となった20万円が2人、10万円が2人であったため。

児童福祉総務費の減額の要因は。

出産手当を55人で計上したが、42人の見込み。重度心身障害児福祉手当は52人で計上したが、44人となったため。

ワーケーション研修プログラム事業委託の内容は。

移住検討者が地域に入る窓口として地域のコーディネーターを育成する。またイベントによる交流人口の拡大を通して移住者の増加を図るもの。

猪苗代オリジナル商品による誘客宣伝活動事業補助金の内容は。

菓子組合の新たな商品開発のための補助金。

《農林水産業費》

有害鳥獣駆除員の報酬減額は、駆除隊員が少なくなっているためか。

駆除隊の高齢化が進んでいるが、狩猟資格の助成をしている。駆除活動の衰退をさせないようにしている。



駆除隊の辞令交付式

《商工費》

町民応援商品券交付事業の実績による減額が大きい要因は。

全町民1万3200人を見込んだが、1万2781人の交付となったため。

《土木費》

空き家対策事業100万円の減額理由は。

危険空き家に限った事業で、上限50万円で、当初3件を予定していたが、実績が1件であったため。

《教育費》

ICT教育支援業務委託の減額の理由は。

小中学校での実施件数が少なかった。猪苗代小、猪苗代中、翁島小で利用した。



ICT研修会

国民健康保険特別会計

出産育児一時金負担金252万円の減額の内容は。

当初9名分を計上したが、現在まで0件であり、6名分を減額した。母子手帳の交付状況から3名分を残した。

令和6年度予算

一般会計

〔歳入〕

《地方特例交付金》

定額減税収入補填特例交付金の内容は。

令和6年度の税制改正により個人町民税の定額減税が実施されることによる、減額分の国費による補填。

新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金は。

中小企業等が所有する償却資産に対する固定資産税等の軽減措置に対する交付金。

《地方交付税》

2326万6千円増額となった根拠と見込みは。

国の地方財政計画等を参考に試算したもので0・7%増額となった。

《県支出金》

空き家対策支援総合支援補助金の内容は。

事業主体が町になった。空き家を改修、除去し移住定住していただくもの。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税が前年度比で大幅な減額となる要因は。

県が仮算定した国民健康保険事業納付金、その他必要経費を賄うために税を算定しており、県が算定した事業納付金が前年度比で約4100万円減額になったため。



地域活性化企業人発案事業委託の内容は。

都内の企業人を観光協会に派遣し、観光町づくりなど地域活性化に関する実証実験やオープンイノベーションの推進などの支援、助言を行うもの。



スクールバス

観光地周遊バス運行事業委託の内容は。

7月20日から11月初旬まで、土日祝日に運行する。

達沢不動滝トイレ解体工事の内容は。

老朽化が進んでいるため解体する。既に設置済みの仮設トイレのほか、もう1基設置予定。



達沢不動滝のトイレ

小学校管理費スクールバス委託料の6200万円は。

新たにスクールバス2台購入、借上バス3台、借上ワゴン車2台が増え、遠距離輸送となるため委託料が増額となる。

審議した主な議案

猪苗代町保育所条例の廃止

令和3年度より休所の、中の沢保育所について、再開の見込みがないため閉所するため。

【主な質疑】

問 地区住民への説明をしたのか。また意見等は。

答 吾妻地区区長会へ説明し、反対の意見は無かった。

猪苗代町放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正

小学校の統廃合に伴い、放課後児童クラブを、各小学校敷地内で開設するため、児童クラブの名称及び開設時間を変更する。

◎利用時間（小学校休業日）
午前8時～午後6時
↓午前7時30分～午後6時



猪苗代町介護保険条例の一部改正

第九次猪苗代町介護保険事業計画の策定に伴い介護保険料について改正する。（令和6年4月1日施行）
例 第5段階 保険料年額
70800円↓69600円

猪苗代町コンバインの管理運営に関する条例の一部改正

そば・大豆刈取用コンバインの修繕費用、作業人件費高騰に伴い使用料の上限額を引き上げるもの。

◎そば刈取

5280円↓6270円

◎大豆刈取

5500円↓6600円

【主な質疑】

問 引き上げの計算方法は。

答 税抜き額に1・2倍し、100円未満切り捨てし税込み額を出した。

問 事前に農業関係者との情報交換は行ったのか。

答 コンバインを所有する刈取生産組合から燃油等の高騰により厳しい状況であるとの話をいただいた。集落推進員さんにも説明をさせていただいた。

【反対討論】

【鈴木 元】

積算根拠に全く準拠していないので認められない。
【五十嵐 ミエ子】
物価高騰で農業者が大変な状況であるので反対。

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
コンバインの管理運営に関する条例の一部改正	×	○	×	×	○	○	欠	欠	○	○	×	○	×	議	可決

令和6年度～町施設の指定管理者の指定

猪苗代地区コミュニティセンター	㈱まちづくり猪苗代	令和8年度まで	可決
猪苗代町ふるさと交流センター「幸陽の杜」	㈱DMCcaizu	令和8年度まで	
猪苗代町地域振興施設	㈱道の駅猪苗代	令和10年度まで	
猪苗代町総合体育館(カメリーナ)	㈱まちづくり猪苗代	令和8年度まで	
猪苗代町体育施設 (川桁体育館・中ノ沢体育館・中ノ沢第二体育館・猪苗代町運動公園・中ノ沢運動場・中ノ沢庭球場)	㈱まちづくり猪苗代	令和8年度まで	

選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

猪苗代町選挙管理委員の任期が4月29日で満了となるため、地方自治法第118条の規定により議長の指名推薦で行われ、当選人と決めました。

《選挙管理委員会委員》

- 長沼 貢希 氏（古城町）
- 渡部 正司 氏（蟹沢・長浜）
- 福地 覚雄 氏（志津）
- 渡部 有司 氏（白木城）

《選挙管理委員補充員》

- 國井 宗雄 氏（松橋浜）
- 相原 裕二 氏（高森）
- 渡部 久 氏（相名目）
- 佐藤 良二 氏（古城町）

※任期は令和10年4月28日の4年間です。

臨時会

(1月26日)

あらまし

令和6年第1回臨時会が開催されました。町長から提出された議案は、自動車物損事故による損害賠償・和解、一般会計補正予算、猪苗代町手数料条例の一部を改正する条例、財産の取得についての4件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

【主な審議内容】

○専決処分の報告について

林道不動滝線上において、普通乗用車がグレーチングの脱落した横断溝に落輪し、同車左前輪が損傷したものの。

【主な質疑】

問 グレーチングの脱落した要因は。

答 達沢不動滝へ向かう林道のため、車の往来が多く、その車両通過により外れたかと思われる。

問 今後の対応策は。

答 再度グレーチングをはめ直したが、今後再度点検確認し、対策が必要であれば次年度以降きちんとした対策を実施していく。

○一般会計補正予算

暖冬により町内スキー場及び宿泊施設等の利用者が減少していることから、事業者を支援するため、第2弾 電子クーポン発行事業の委託料20,445千円を計上。2月1日から3月31日までに利用できるよう実施。

○財産の取得について

猪苗代第二小学校において、給食を提供するための給食配送車1台の取得。納入期限は8月23日で、トラックの納入ができない1学期の期間は当初予算のトラックのリース料で計上している。



給食配送車

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

山内 浩二⑩
こどもの屋内遊び場施設確保

渡部 一登⑪
廃校になった学校の今後

星野 あけみ⑫
交通安全

五十嵐 ミエ子⑬
デマンドタクシー

渡辺 真一郎⑭
今後の観光振興

鈴木 元⑮
通学路の安全対策

安齋 浩明⑯
2月18日執行
町議会議員一般選挙の結果

長友 海夢⑰
地域の担い手不足、人口減少対策

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

YouTube「You Tube」配信中！

猪苗代町議会は、町のホームページでの録画映像配信と、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。各ページのQRコードをご利用ください。※Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。



やまうち こうじ
山内 浩二



質問者の動画
が見られます

Q. こども屋内遊び場施設の確保は
A. 子育て世帯の意見を伺い環境整備に努める

【質問】屋内こども遊び場づくりの考えは。

【副町長】子育て支援や遊びの中の様々な体験を通じて重要な施策である。

【質問】登録施設の管理運営は。

【保健福祉課長】遊び場登録している児童館は令和5年度から3年間、NPO法人子育てサロン日尚ぼっこに指定管理者として管理運営をお願いしている。

【質問】現在施設が快適に遊べる環境なのか。

【保健福祉課長】児童館は建築年が、昭和51年で老朽化が進んでいると認識している。令和6年度においては屋内遊具の新規導入と各室にエアコン等の設置予定。照明器具はLEDに交換するため6年度の当初予算で計上させていただき環境整備に努めている。

Q. 新規就農促進支援は
A. 年額150万円で最長2年間の支援

【質問】新規就農者の状況は。



農業をはじめる

【農林課長】令和5年度は3名で、支援期間が終了された方が2名の累計5名。

【質問】新規就農者の空き家活用や農業機械の支援は。

【農林課長】地域計画において、農家住宅の空き家や農機具等について、地域でフォローすることとなっている。

また、上限1千万円で国、県から4分の3が補助される経営発展支援事業を活用し、機械等の導入支援をしている。

【質問】県外からの移住就農者への呼び込み状況は。

【農林課長】ふくしま農業人フェア等において、新規就農者に対する呼び込みをしている。

Q. 防災個別避難計画は
A. 条件が整った方から順次、速やかに作成する

【質問】個別避難計画策定と避難計画作成目標は。

【保健福祉課長】優先対象の地域名簿に記載された要支援者で、同居家族がいない要介護3以上の高齢者、重度障害がある方、同居はいるが避難行動に支援必要な方を選定、避難行動要支援者の同意を得て作成をしていくので非常に難しいが進めていく。

【質問】市町村義務化の個別避難対象者策定状況は。

【保健福祉課長】現在のところ2名の方が作成済み。継続して進めている。

【質問】個別避難計画を作る体制は。

【保健福祉課長】防災担当の総務課1名と保健福祉課1名で連携して作成している。



わたなべ かずと
渡部 一登



質問者の動画
が見られます

Q. 廃校になった施設の今後は
A. 賃貸を主として検討中



公募される旧東中学校

【質問】廃校になった施設はいつごろ公募を予定しているのか。

【教育総務課長】不動産鑑定委託をした旧吾妻小学校、旧東中学校、緑小学校は早急に進めることが可能。それ以外の小学校は、今後不動産鑑定委託を実施予定し、その成果を基に公募を実施。

【質問】耐震基準を満たしていない施設は今後どのようにされるのか。

【教育総務課長】耐震基準を満たしていない施設は、公共・公用また地域での活用についてはない。

今後、民間事業者での活用を公募し、活用が提案がなければ解体を検討する。

【質問】解体される場合は現時点でどのくらいの費用が想定されるか。

【教育総務課長】現時点での解体費用は翁島小学校で約1億4,800万円程度、旧吾妻中学校では、1億8,000万円程度必要と予定している。

Q. 企業誘致策の空き店舗利活用の現状は
A. 令和4年度は6件の事業者が空き店舗を活用

【質問】地域活性化のためにアウトレットや大型商業施設・外資系のスーパーマーケット等の誘致は出来ないのか。

【商工観光課長】大型の商業施設等の誘致は、「大規模小売店舗立地法」と「県商業まちづくりの推進に関する条例」の規制があり現時点では厳しい状況である。

【質問】規制の緩和はできないのか。

【商工観光課長】大型商業施設を誘致することは、地元の中心市街地の空洞化や町並み環境の変化など、まちづくりの観点からも多くの調整が必要になってくる。県の条例は5件の要件がありその要件が基準となることから、緩和に向けては次の段階であり現状としては難しい。



観光客が増えている道の駅

【質問】他市町村では空き家対策として、町が改修をして移住者に貸し出し、かけた費用が回収できた後に所有者に戻すモデルケースで成功しているが本町も独自の誘致や空き家対策に効果的と考えるか。

【商工観光課長】そのような事業を実施している高知県梶原町では6年間で約100世帯が事業を活用されている。本町もこうした町独自の対策が不可欠である。お話し住宅の整備についても、民間事業者との連携というのが必要であり実施していくことが不可欠だと考える。



ほしの 星野 あけみ

質問者の動画が見られます



Q. 事故現場は通学路点検で危険箇所との認識か
A. 危険箇所との報告で対策を講じてきた

【質問】下校時の交通事故が発生した。対応は。

【教育総務課長】以前からの通学路点検報告を受け、横断歩道の前後に標識の設置や路面表示さらには道路に破線（ドットライン）をつけて対策を講じてきた。

事故後、通学方法の見直しの指示があり、4月からの猪苗代第二小の路線バス登下校をスクールバスでの登下校へと変更した。

3月1日、翁島小において対象児童保護者に説明をした。

【質問】信号のない横断歩道が多く設置されている。対策は。

【総務課長】事故の多発する場所や危険箇所は、区長や住民の方から意見・要望を頂き、現場を確認しながら対応している。



通学路点検の重視を

【質問】横断歩道はバス停の近くに設置されている。交通量の多い道路を渡る危険性を減らすためにバス事業者と協議する考えは。

【企画財務課長】児童・生徒の安全を確保するためバス路線及びバス停留所の改善が図られないか、協議をしてみたい。

これまでも、国道から集落内への乗り入れの協議を重ねてきた。冬期間の除雪体制や道幅が狭く、集落内で転回する場所がないなどから実現には至っていない状況である。



避難所のプライバシーシート

Q. 災害時の情報発信は
A. 携帯のエリアメールでいち早く発信

【質問】道路の寸断など孤立する地域の想定は。

【総務課長】土砂災害警戒区域に指定される千貫・蒲谷地・達沢の3行政区と金堀地区である。

【質問】道路啓開のための計画策定や事業者との協定締結の状況は。

【総務課長】福島県建設業協会猪苗代支部及び猪苗代町災害救援協力会と締結しており、町内全ての業者が含まれている。計画は策定していない。

【質問】避難所の食料備蓄は塩分濃度の高いものが多い。配慮すべきでは。

【総務課長】非常食として白がゆ等、比較的塩分の低い食料も備蓄している。

【質問】避難所のトイレの現状とトイレトラックの導入は。

【総務課長】既存のトイレに設置する簡易トイレ4千回分、自動ラップ式トイレ12基に加え、専用の袋1500回分の備蓄をしている。トイレトラックは費用対効果で現実的でない、仮設トイレで対応する。

Q. 千里小学校周辺の通学路の安全対策は
A. 道路整備事業再開のめどが立っていない

【質問】千里小学校周辺の危険箇所対策は。

【建設課長】国道115号から堤崎の交差点までの区間は、都市計画決定している路線であり、平成6年度に国道115号側から整備を進めてきたが、平成14年度に地権者から道路整備に対する取りやめの要望書が提出、道路整備事業を断念し、現在に至っている。

【質問】早急な対応が必要と考えるが。

【建設課長】令和4年度に千代田地区の地権者へ説明会を実施したが、同意が得られない。今できる対策として、道路区画線を追加標示し、道路の交通安全に努めている。



危険と思われる通学路

【質問】学校統合後の通学路の変更は。

【企画財務課長】国道49号沿線の児童の通学は、当初の路線バスをスクールバスによる登下校としたところである。

Q. 0歳から3歳未満児の保育料無料化の考えは
A. 近隣市町村の動向なども考慮し、検討したい

【質問】若い方々の経済的支援は。

【副町長】結婚新生活支援事業や妊婦健康診査費用の助成、出産手当等の支給などの支援を行っており今後も継続的に経済的な支援を行っていく考えである。

【質問】子どもは社会が育てるという立場に立つべきと考えるが。

【こども課長】子どもは、地域を支える地域の宝として考えている。給付といった直接的な経済的支援から、子育て支援活動等に対して間接的なサポートまで、子育て全体での支援に関わっていききたい。



いがらし 五十嵐 ミエ子

質問者の動画が見られます



Q. デマンドタクシー乗り継ぎのヤード追加は
A. 4月1日から大型店2か所を追加する

【質問】デマンドタクシー運行利用は、町内全域を利用対象区域にすべきと考えるが。

【企画財務課長】町民のニーズや地域住民が支え合う地域共生社会の在り方も含めて検討する必要があると捉えている。

【質問】高齢者の買い物支援する乗り継ぎのヤードの増設は。

【企画財務課長】現状では大型店舗の近くにある、あしはら歯科医院や町立猪苗代病院が買物ヤードとして利用されており、高齢者が県道を横断する危険性も考慮し、リオン・ドール猪苗代店とヨークベニマル猪苗代店を追加する。

【質問】週末に運行する考えは。

【企画財務課長】必要性やニーズの度合いを踏まえ、今後検討してまいります。



わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎

質問者の動画
が見られます



Q. インバウンドの観光客増の理由は
A. 台湾と福島とのチャーター便が運航されたことが大きい

【質問】令和元年比で令和5年の観光客入り込み見込み数は。

【商工観光課長】約248万人で26万人の減。

【質問】その中でインバウンドの割合は。

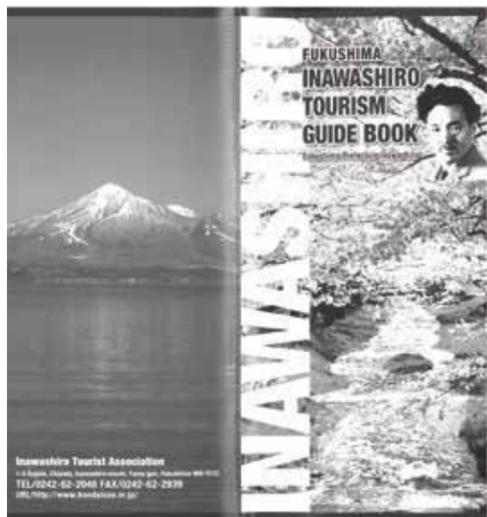
【総務課長】採用の受験者が減少し人員の確保は難しい。

【質問】外国人と対応できる体制作りは職場として当然では。

【総務課長】必要であれば準備する。

【質問】外国語表示のマップは案内板を準備すべきでは。

【商工観光課長】外国人用に五ヶ国語のパンフレットを用意している。看板はスマホのアプリ活用により情報提供したい。



観光協会発行の英語のパンフレット

Q. 廃墟となった宿泊施設の現況調査は
A. 現状は把握していない、実施は検討中



猪苗代駅前の様子

Q. 企業版ふるさと納税の準備状況は
A. 令和4年度から寄附の受入れ体制が整っている

【質問】国有地にある廃墟ホテルは国に原状復帰を要請すべきでは。

【商工観光課長】再利用計画がないと難しい。

【質問】国は土地を貸す場合、返す際は原状復帰が義務ではないのか。

【商工観光課長】働きかけをしていく。

【質問】廃墟の宿泊施設はこれからも増加する。建物の固定資産税の一部を積み立てる仕組みはできないか。

【商工観光課長】現状ではできない。

【質問】現在の企業版ふるさと納税特例措置は令和6年で終了か。

【企画財務課長】6年末までである。

【質問】実施にあたっての課題は何か。

【企画財務課長】職員のみではパワー不足であること。地域おこし協力隊を雇用する予定。

【質問】人材派遣型の活用は検討したか。

【企画財務課長】採用する地域おこし協力隊の経験を活かしたい。

【質問】活用事例は調査されたか。

【企画財務課長】先進地事例を調査し、これまでも取り入れながら推進を図ってきた。



すずき げん
鈴木 元

質問者の動画
が見られます



Q. 過去5年間の通学路での事故件数は
A. 令和5年度に2件発生

【質問】交通ルールの指導だけでなく、物理的な事故防止対策は。

【教育総務課長】今年度4月より国道49号線沿線の路線バス対象の小学生児童をスクールバス通学とし、戸ノ口地区の中学生もスクールバス通学対応とした。

【質問】統合後の通学路で、横断歩道が設置されていない箇所は。

【教育総務課長】各学校から年2回報告を受けており、相当数あると思われる。

【質問】保護者や学校から横断歩道設置に対する要望の現状は。

【教育総務課長】通学路安全点検で7か所の要望があり、内1か所が対応済み。

【質問】安全点検により報告された危険箇所の件数は。

【教育総務課長】夏の点検により33箇所、冬期間の点検で11箇所の報告を受けている。

【質問】複数年継続して危険箇所と報告されながら改修困難な箇所や改修が進まない事由は。

【教育総務課長】第二小学校周辺の町道部分や、町道三城潟西館線、中学校の西側の幅員が狭く危険と報告を受けている。用地確保が必要であり、整備のため説明会を開催している。



猪苗代第二小学校周辺の通学路

【質問】改修困難箇所の安全対策は。

【建設課長】第二小学校周辺については、道路区画線の破線と通学路表示を設置。中学校西側については、道路の南側部分の路肩部分を1・2メートル拡幅する。

【教育総務課長】学校や地区委員会等で児童・生徒への情報共有を行う。第二小学校周辺は立木伐採を行い視界確保に努める。

【質問】通学時間が長くなる児童・生徒に対しては、一定の基準を設けて再検討すべきでは。

【教育総務課長】通学方法の検討に際しては配慮して計画を練っている。通学時のトイレ利用については対策を講じている。

【質問】現在の企業版ふるさと納税特例措置は令和6年で終了か。

【企画財務課長】6年末までである。

【質問】実施にあたっての課題は何か。

【企画財務課長】職員のみではパワー不足であること。地域おこし協力隊を雇用する予定。

【質問】人材派遣型の活用は検討したか。

【企画財務課長】採用する地域おこし協力隊の経験を活かしたい。

【質問】活用事例は調査されたか。

【企画財務課長】先進地事例を調査し、これまでも取り入れながら推進を図ってきた。

【質問】危険予知が未熟な子供たちの安全性は特に配慮しなければならぬ。

行政と学校・保護者の情報共有の必要性が求められるが、小学校統合後の新たな取り組みは。

【教育総務課長】スクールバス発着所に交通指導員の配置や看板を設置し、支援員による対応を予定。

P T Aや地域の見守り、交通安全運動などの協力を賜わりながら、抜け目なく取り組んで参りたい。



拡幅予定の猪苗代中学校西側道路



あんざい ひろあき
安齋 浩明

質問者の動画が見られます



Q. 猪苗代町議会議員一般選挙の結果は
A. 有権者は、新人候補者、若手候補者に期待

【質問】選挙結果を町政にどう反映するのか。

【副町長】今般の選挙で、有権者の方々が新人候補者、若手候補者の考え方あるいは行動力を支持され、期待している結果だと捉えている。投票率そのものとしては必ずしも高くなかったと受け止めている。今後は、町民の皆さんに一層の関心をもってもらえるよう、議員の皆様方と一緒に、町政進展のために尽力する。



当選証書を受ける

Q. 交通事故防止対策は
A. 町道は、可能な限り安全対策を実施している

【質問】令和5年の交通事故発生状況とその対策は。

【総務課長】令和5年の交通事故発生件数は、物件事故が558件、人身事故が24件、人身事故のうち死者数が1件、傷者数が30件となっている。交通事故が多発する場所等については、案件によっては警察署や道路管理者へ取り次ぎ、町道であれば建設課と協議・検討し、可能な限り安全対策を実施している。

【質問】交通安全死亡事故発生時の危険箇所点検は。

【建設課長】交通危険箇所の点検は、通学路合同点検で実施している。今年度は、区画線や路面表示を施行するなど即効性の高い安全対策を実施した。

Q. 移住・定住対策は
A. 関係団体と連携する

【質問】小学校統合に伴う交通安全対策は。

【教育総務課長】児童に対する交通安全教育に引き続き努める。スクールバスや路線バスに搭乗し、状況を確認するなど危険箇所の把握に努めるとともに関係機関と連携し交通安全事故防止対策に取り組む。

【質問】認定NPO法人ふるさと回帰センター等との連携は。

【商工観光課長】令和5年度からセミナーに参加している。令和6年度も連携し、セミナーを開催する。



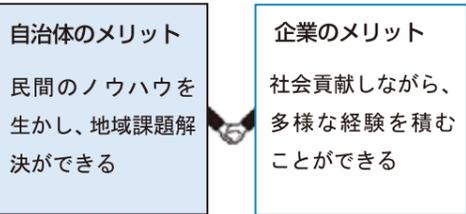
移住・定住に確保できた住宅

【質問】ホームページ掲載の移住・定住に関する情報提供の効果等は。

【商工観光課長】令和5年度は、今のところ34件で平成30年の3倍以上の相談件数となっている。移住者は、1月末現在13件、28名となっている。

【質問】移住・定住に特化した課等の新設予定は。

【総務課長】業務量に応じた職員配置をしており、移住・定住の業務は商工観光課が担当している。現時点での移住・定住に特化した課等の新設予定はない。



(※2)地域活性化企業人制度とは
地方自治体が都市部の民間企業の社員を受け入れ、民間企業のノウハウを発揮してもらう制度

Q. 町の自主財源比率に対する考えは
A. 自主財源の確保に努める必要がある

【質問】ふるさと納税制度推進の成果は。

【企画財務課長】目標額の1億2千万円に対し、2月末時点の寄付額は、1億913万2千円。

【質問】ふるさと納税制度推進の成果は。

【企画財務課長】目標額の1億2千万円に対し、2月末時点の寄付額は、1億913万2千円。

【質問】子育て支援拡充による人口減少対策の課題は。
【保健福祉課長】経済的な支援を含む、切れ目のない子育て支援が、町にとって現状の課題。
【質問】子ども園の働き手不足に対する施策は。
【こども課長】現場の職員確保は最優先と考えている。広報紙や回覧での募集、有資格者へ勧誘を行い、人員確保に努めたい。

【質問】アントレプレナーシップ(※1)教育導入に対する町の考えは。
【教育総務課長】一部の大学や高校で導入が始まったと聞いている。この教育は、今後更に必要になるのではと認識している。
【質問】社会起業家の育成は。
【教育総務課長】猪苗代高校の課題解決に貢献できる人材の育成が行われており、高校との意見交換や、関係者との認識共有を進めたい。



地域探究学習の様子

(※1)アントレプレナーシップとは
新しい価値を創造し、リスクを恐れずに挑戦する精神や姿勢。

Q. 本町で子育てしたいと思ってもらえる施策は
A. 他市町村に負けない子育て支援に取り組む

質問者の動画が見られます



ながとも ひろむ
長友 海夢



【質問】今後の新たな施策は。
【保健福祉課長】0歳〜2歳児を対象とし、おむつ券の支給や、小児科や産婦人科の専門医に相談できるオンライン医療相談体制の整備、屋内遊び場の遊具整備等、令和6年度の予算に計上した。



たかの ゆう
高野 優さん
(猪苗代中学校)

わたしたちの町 ～魅力あふれる猪苗代町～



僕の住んでいる猪苗代町は
とても素晴らしい町です。大
きく美しい猪苗代湖や大き
くそびえたつ磐梯山があり、自
然がともいっばいです。
そんな猪苗代町の一番の魅
力は四季の移り変わりが美し

いということだと思っています。
春には土津神社や観音寺川
などにたくさんの桜が咲き誇
ります。特に夜にライトアップ
された桜並木はとてもきれ
いです。
夏には猪苗代湖で湖水浴や
釣り、キャンプなどを楽しむ
ことができます。
秋には磐梯山が赤や黄色に
色づき、美しい紅葉が見られ
ます。
冬には磐梯山にたくさんの方
雪が積もり、スキーやスノー
ボードを楽しむことができま
す。
このように自然を生かし、
どの季節でも楽しむことがで
きる猪苗代町、魅力にあふれ、
たくさんの方の観光客が訪れる猪
苗代町を、さらに多くの人に
知ってもらいたいと思います。

議会報告会を開催します

1. 日時 令和6年5月16日(木)
午後2時～午後3時
2. 場所 学びいな 研修室 ABC
3. 内容 令和6年3月定例議会に
ついて

※どなたでも参加できます
ぜひお越しください。

傍聴においで下さい

6月議会は
6月5日(水曜日)
開会予定です。

【一般質問予定日:10日(月)・11日(火)】

※質問者・質問内容につ
いては5月28日以降に
町のホームページに掲載
します。また右施設にチ
ラシを掲示しますのでご
覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

今号の表紙

4月8日、猪苗代第二小学校の開校式が行われました。新しい校歌を一生懸命歌いました。

編集後記

8年ぶりの町議会議員選挙は、
投票率64・31%(2016年を3・
96ポイント下回り)過去最低と
なりました。この現実を重く受け
止め、これまで以上に議会改革を
推し進めてまいります。

この度、これまでの広報部門が
広報広聴常任委員会となりました。
議会だよりの発行とともに議会報
告会・町民の皆様との意見交換会
を企画・運営します。

“もつと身近に議会を、
もつと皆さまの声を議会に”
3月定例会一般質問の傍聴席は
傍聴者でいっぱいでした。今後と
も議会に関心を寄せて頂き、お出
かけ下さいますようお願いいたし
ます。

広報広聴常任委員会

(広報担当)

- 委員長 星野 あけみ
副委員長 瀧田 勝昭
委員 長友 海夢
委員 鈴木 元
委員 渡部 一登
委員 長澤 操
委員 五十嵐 ミエ子
委員 安齋 浩明